

4. 将来交通計画の基本理念と基本方針

4.1 基本理念

上位計画である「第四次東広島市総合計画のまちづくり大綱」、「第2次東広島市都市計画マスタープランの都市づくりの目標」及び現況交通課題を包括的に整理し、都市交通マスタープランの基本理念として、①日常生活を支える交通、②都市の活力を促す交通、③持続可能な交通の3つを定めます。

第四次東広島市総合計画 まちづくり大綱	第2次東広島市都市計画マスタープラン 都市づくりの目標
<p>①人づくり 個の力が発揮でき、人の力で発展していくまち</p> <p>②安心づくり 安全で安心な暮らしを地域で支えあうまち</p> <p>③快適づくり 環境と調和した生活しやすいまち</p> <p>④活力づくり 交流が盛んなにぎわいのあるまち</p> <p>⑤自立のまちづくり 新たな発想を生かした自立と協働のまち</p>	<p>①住み 市民一人ひとりが都市づくりの主役であり、移動などの制約が少なく、快適で利便性の高い都市</p> <p>②学び 大学や試験研究機関など、優れた教育・人材育成機能の集積を活用し、学んだ成果を活かせる都市</p> <p>③働き 先進的な研究と技術の融合など、高付加価値のモノやサービスの創造が新たな雇用を生む都市</p> <p>④憩う 豊かな自然との共生とともに、環境への負荷を軽減し、ゆとりと潤いのある空間・場所・施設が憩いの場となるような都市</p>
現況交通課題	
<p>①少子高齢化・過疎化への対応</p> <p>②都市機能強化への対応</p> <p>③持続可能な都市の構築</p> <p>④環境負荷の軽減</p>	

東広島市都市交通マスタープラン

基本理念 ～いまと、これからの交通を考える～

(1) 日常生活を支える交通

日常生活施設が集積する都市拠点内と地域拠点内または拠点間の移動の円滑化を図り、だれもが安全で快適な暮らしが出来る移動環境の構築を目指します。

(2) 都市の活力を促す交通

東広島市の特徴である大学や試験研究機関、多くの産業団地、さらには、広域交通拠点である広島空港、新幹線駅（東広島駅）等を利用して企業立地・企業活動活性化を図るとともに、市域内外の人や物の円滑な流れを促進し、都市の活力を高めます。

(3) 持続可能な交通

環境負荷の軽減と、都市の健全な発展と秩序ある整備の両立を図るとともに、行政負担の適正化を図るために、将来にわたって持続可能な移動環境の構築を目指します。

4.2 基本方針

基本理念に応じた基本方針として、以下のとおり定めます。

基本理念	(1)日常生活を支える交通		日常生活施設が集積する都市拠点内と地域拠点内または拠点間の移動の円滑化を図り、だれもが安全で快適な暮らしができる移動環境の構築を目指します。
	基本方針	①生活インフラとしての交通網の構築	・通勤、通学、買物、通院等の生活に欠かせない移動を円滑にする交通網の構築を目指します。
		②徒歩・自転車環境の整備促進	・近距離移動における主要な移動手段となる徒歩、自転車移動を確保する安全な移動環境の整備を促進します。
		③バリアフリー化の促進	・駅や主要バス停等の交通結節点やその周辺のバリアフリー化を促進します。
	(2)都市の活力を促す交通		東広島市の特徴である大学や試験研究機関、多くの産業団地、さらには、広域交通拠点である広島空港、新幹線駅（東広島駅）等を利便性の高い交通ネットワークで結ぶことで企業立地・企業活動活性化を図るとともに、市域内外の人や物の円滑な流れを促進し、都市の活力を高めます。
	基本方針	①社会・経済活動を支える交通網の構築	・大学や試験研究機関、産業団地等への円滑な人と物の流れを促進する交通網の構築を目指します。
		②広域移動環境の整備	・広域移動を担う、広島空港、新幹線駅や高速道路等へのアクセス性の向上を図ります。
		③中心市街地のにぎわい創出	・中心市街地としての性格を持つ西条駅周辺部分において、にぎわいを創出するような移動環境の整備を促進します。
	(3)持続可能な交通		環境負荷の軽減と、都市の健全な発展と秩序ある整備の両立を図るとともに、行政負担の適正化を図るために、将来にわたって持続可能な移動環境の構築を目指します。
基本方針	①環境負荷の軽減	・公共交通の利用促進、道路混雑の緩和など、環境にやさしい交通網の構築を目指します。	
	②都市の健全な発展と秩序ある整備につながる交通網の構築	・コンパクトで集約型の都市構造を形成するための交通網の構築を目指します。	
	③行政負担の適正化	・限られた財源を効率的に運用するとともに、地域や関係機関と連携・協力を進め、役割を分担しながら持続可能な交通網の構築を目指します。	